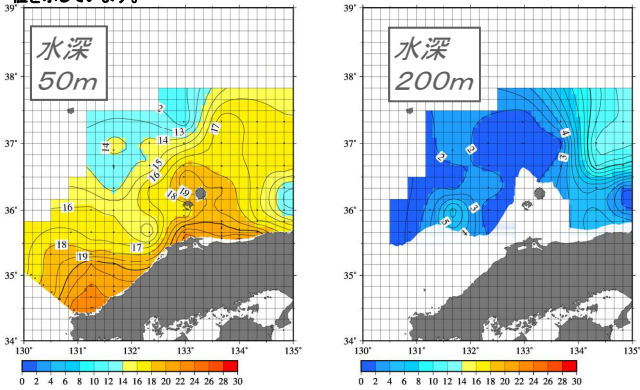


鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は24～25℃で、平年(直近20年)より低めの値を示しています。

水温は15～17℃を示し、平年(直近20年)並みの値となっています。



水温は17～21℃を示し、平年(直近20年)並みの値を示しています。

鳥取県東部沖北緯36°30'以北に暖水域(10～12℃)があります。

## 水産試験場

### 鳥取県沿岸に大型クラゲが来遊しています

大型クラゲ(エチゼンクラゲ・*Nemopilema nomurai*)は、近年、鳥取県への来遊量は少なく、大きな漁業被害は見られない状況が続いています。現在、少量ですが、本県沿岸でも小型底引き網で入網が確認されています。今後、定置網等への入網の可能性もあることから、今後の状況に注意してください。



#### 【大型クラゲ来遊情報】

1 (国研)水産研究・教育機構 対馬海峡東水道フェリー目視調査  
8月18～19日<博多⇄対馬> 大型クラゲの出現は確認されます。

2 8月25日:(一社)漁業情報サービスセンター

東シナ海～山陰～新潟県まで確認があります。東シナ海は五島沖で、近海ではまき網での入網もあったので、今後の動向に注意してください。福井県は広範囲で入網がありましたが、いずれも1～2個と少量です。隠岐諸島沖の分布状況から、今後の動向に注意してください。新潟は1～2個体で、これも広範囲でまともに確認がありました。日本海は全域で十分注意してください。

3 鳥取県での入網情報

○8月17～18日 試験船「第一鳥取丸」トロール調査 30分曳網

白島沖 水深約210～240m  
北緯36°41'～36°44'、東経133°06'～133°13'  
傘径60～110cm 一曳網あたり3～5個体入網

中江沖 水深約190～230m  
北緯36°20'～36°30'、東経132°47'～132°55'  
傘径80cm 一曳網あたり8個体入網

○8月23日 小型底引き網

赤碓沖 水深105m 北緯35°45'、東経133°40' 傘径40～80cm 2個体入網  
赤碓沖 水深101m 北緯35°46'、東経133°36' 傘径40～80cm 2個体入網

日本全国の大型クラゲ出現状況及び動向は、以下のホームページで確認できます。

(国研)水産研究・教育機構:<https://www.fra.affrc.go.jp/kurage/index.html>

(国研)水産研究・教育機構 日本海区水産研究所:

[http://jsnri.fra.affrc.go.jp/kurage/kurage\\_top.html](http://jsnri.fra.affrc.go.jp/kurage/kurage_top.html)

(一社)漁業情報サービスセンター:<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>

お詫び 9月5日(土)開催予定の「第9回 水産試験場 海と魚の学習日」は、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、開催を中止します。

令和2年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

## 西日本ニチモウ株式会社

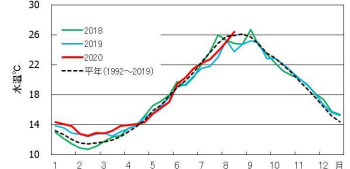
本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136  
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424  
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330



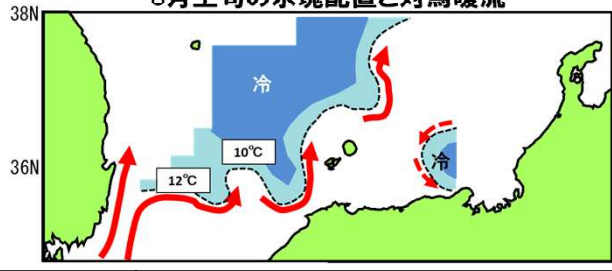
## 鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽  
(電話:0858-34-3321)

8月中旬 26.4℃  
平年より約0.5℃高め



## 8月上旬の水塊配置と対馬暖流



鳥根沖冷水	鳥根県東部沖北緯35°50'以北に認められます(10℃以下)。
山陰・若狭沖冷水	鳥取県沖では北緯37°以北に認められます(10℃以下)。
その他の水塊	冷水塊:鳥取県東部沖北緯35°40'～36°30'以北に冷水塊の一部が張り出しています。
対馬暖流 主流の流路	朝鮮半島東岸に沿って北上し、一部が鳥根沖冷水の12℃等温線に沿って北東に向かうと考えられます。その後、主流の一部は、隠岐諸島西方から北方に向かい、鳥取県沖北緯37°以北を流れると考えられます。鳥取県東部沖の冷水塊周辺には反時計回りの流れが生じると考えられます。

\*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

## ★水産課からのお知らせ★

### あわび・なまこの密漁に対する罰則が強化されます!

令和2年12月1日に施行される改正漁業法では、密漁対策が強化され、違反行為に対する罰則が強化されます。

特に漁業権や許可に基づかないアワビ・ナマコの採捕は個人に対する最高額である**3,000万円**以下の罰金となっています。

これまで、漁業権の無い場所でのアワビ・ナマコの採捕は誰でもできたのですが、12月1日以降は**漁業者の方でも、漁業権が無い場所での採捕は違反となりますのでご注意ください(知事の許可を受けた場合は別)**。

(単位 懲役:年以下、罰金:万円以下)

違反行為	現在		12月1日以降	
	懲役	罰金	懲役	罰金
特定水産動物*(あわび・なまこ)の採捕、運搬等	-	-	3	3,000

\*他にウナギの稚魚(全長13cm以下)も対象です

また、改正漁業法では漁業権の侵害や無許可漁業等についても罰則が強化されています。詳しくは水産庁のHPをご覧ください。  
(水産庁密漁HP URL <https://www.jfa.maff.go.jp/j/enoki/mitsuryotaisaku.html>)

## 栽培漁業センター

ソデイカ(赤いか)試験操業→ゼロ  
※今漁期は厳しそう※

令和2年8月20日(木)に鳥取県漁協賀露支所の網中丸、豊進丸に御協力いただき、赤いかの試験操業を行いました。結果は3.5時間で0尾・・・同日も賀露船2隻が操業して胴長30cm台の小型サイズが計3尾ということでした。厳しいことが予想されましたが、そのとおりの結果になってしまいました。

#### ●漁況予測●

8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深の海水温と赤いか漁獲量との相関関係から赤いかの漁況の予測を行っています。7月29日時点で同調査点の水温は16.4℃と例年並みの水温となっており、予想される漁獲量は「直近5カ年平均程度」の見込みです。

ただ、赤いかの主産卵場である沖繩県の4,5月の漁獲物組成は、産卵サイズ以下の小型主体であることから、そもそもの来遊量が少ないのではと危惧しています。

#### 【その他のソデイカ情報】

- 兵庫県但馬水産技術センターHP「令和2年度日本海ソデイカ(あいか)長期漁況予報」より
- 過去5年平均と比べて「**平年並み～やや多め**」
- 漁場形成は平年より「**平年並み～やや沿岸寄り**」見込み
- 沖繩県水産海洋技術センターHP「漁海況情報」
- 今漁期(R1年11月～R2年5月)の漁獲量は、過去5年平均よりも「**少なく**」推移。
- 特に5月の漁獲物組成はほぼ7kg以下



潮に夢を

## 共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530